

公 告

2020年7月13日

公告第631号

大同生命健康保険組合
理事長 北原 睦朗

2019(令和元)年度 事業報告書・財産目録

標記につき、添付のとおり公告する。

以 上

2019（令和元）年度 事業報告書

大同生命健康保険組合

第 1 事業概況

令和元年度の事業において、収入面（一般勘定経常収入）では保険料収入につき、前年度から年間平均被保険者数が74人増加（7,864人から7,938人）、平均標準報酬月額（年間平均）が1,267円増加（389,853円から391,120円）、総標準賞与額（年間合計）が1,094,208円増加（10,591,031円から11,685,239円）したことにより、4,066,642千円（前年度比103.3%）となり、全体で4,084,538千円と前年度（3,949,645千円）から134,893千円増加（前年度比103.4%）した。

支出面（一般勘定経常支出）では、保険給付費が1,794,668千円と前年度（1,729,509千円）から65,159千円増加（前年度比103.8%）、納付金が1,662,282千円と前年度（1,325,945千円）から336,337千円増加（125.4%）し、保健事業費についても、生活習慣病健診の対象者の増加により疾病予防費が、申込者の増加により特定保健指導事業費が増加したことで、162,337千円と前年度（156,482千円）から5,855千円増加（前年度比103.7%）、結果、全体で3,689,122千円と前年度（3,283,233千円）から405,889千円増加（前年度比112.4%）した。

予算との対比でみると、収入面では予算（3,903,000千円）を181,538千円超過（予算比104.7%）、支出面では予算（3,720,149千円）を31,027千円下回る（予算比99.2%）こととなった。

以上の結果、経常収入支出差引額は395,416千円と、前年度（666,412千円）から270,996千円減少（前年度比59.3%）したものの、予算（182,851千円）を212,565千円超過する黒字となった。

なお、事業主の健康経営の取組みに呼応し連携を一層強化したうえで、組合員の健康の保持増進およびそれによる医療費の抑制を図ること、ならびに健康リテラシーの向上を目的とした保健事業（特定保健指導、3大生活習慣を正しく学び実践するイベント“くうねるあるく”、女性特有の健康関連課題についてのセミナー開催など）に取り組んだ。

1. 適用

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間平均被保険者数 (人)	男	2,558	2,510	2,488	2,495	2,483
	女	5,390	5,438	5,418	5,369	5,455
	計	7,948	7,948	7,906	7,864	7,938
増 減		160	0	▲ 42	▲ 42	74
被扶養者数 (人)		5,194	5,134	5,095	5,024	4,916
増 減		▲ 61	▲ 60	▲ 39	▲ 71	▲ 108
年間平均標準報酬月額 (円)		377,091	380,261	386,280	389,853	391,120
増 減		▲ 4,014	3,170	6,019	3,573	1,267

2. 収支

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保険料収入（一人当たり） (円)		534,016	536,777	548,539	500,512	512,301
増 減		123,365	2,761	11,762	▲ 48,027	11,789
保険給付費（一人当たり） (円)		204,236	209,771	212,244	219,927	226,086
増 減		▲ 4,670	5,535	2,473	7,683	6,159
納付金（一人当たり） (円)		240,009	164,249	162,521	168,609	209,408
増 減		5,208	▲ 75,760	▲ 1,728	6,088	40,799

第 2 庶務の概要

1. 事務所

所在地	摘要
大阪市西区江戸堀1丁目2番1号	

2. 組合会

開会年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席名	欠席名	可名	否名
平成31年4月1日	(第167回) 1. 議決事項 (1) 監事選出に関する件	監事選挙において選定議員たる監事を選出	24	0	24	0
令和元年7月11日	(第168回) 1. 議決事項 (1) 平成30年度収入支出決算および事業報告に関する件	収入支出決算状況、事業運営状況について報告のうえ議決 [一般勘定] 収入決算額 3,949,645千円 支出決算額 3,283,233千円 差引残額 666,412千円 [介護勘定] 収入決算額 631,303千円 支出決算額 456,998千円 差引残額 174,305千円	24	0	24	0
	(2) 平成30年度決算残金処分に関する件	決算残金を次のとおり処分する旨議決 [一般勘定] 別途積立金 719,772,781円 [介護勘定] 繰越金 137,011,100円 準備金 37,294,025円	24	0	24	0
	(3) 平成31年度（介護勘定）予算変更に関する件	介護納付金の予算の変更について議決 変更前 480,000千円 変更後 490,540千円	24	0	24	0
	(4) 規約の一部変更および規程の廃止に関する件	規約の変更、規程の廃止について議決 [変更] ・介護勘定に予備費の用途を規定 ・公告方法の変更 令和元年8月1日施行 [廃止] ・高額医療費資金貸付規程	24	0	24	0
	2. 報告事項 (1) 財政見通し	資料に基づき報告	24	0	24	0

開会年月日	議決又は報告事項の件名	議決又は報告事項の概要	議員の出席状況		議決又は報告の結果	
			出席 名	欠席 名	可 名	否 名
令和2年2月14日	(第169回) 1. 議決事項					
	(1) 令和2年度保健事業計画に関する件	令和2年度保健事業内容について審議のうえ議決	24	0	24	0
	(2) 令和2年度収入支出予算に関する件	令和2年度収入支出予算について審議のうえ議決 [一般勘定] 収入額 4,043,720千円 支出額 4,043,720千円 [介護勘定] 収入額 814,889千円 支出額 814,889千円	24	0	24	0
	(3) 規約の一部変更に関する件	理事会の決定事項から「組合会に提出する議案」を削除する旨議決 令和2年4月1日施行				
	(4) 「被扶養者認定基準」の一部変更に関する件	「被扶養者認定基準」の一部変更について議決 令和2年4月1日施行	24	0	24	0
	(5) 「健診等補助金支給規程」の一部変更に関する件	「健診等補助金支給規程」の一部変更について議決 令和2年4月1日施行				
	(4) 理事長専決処分に関する件	次の処分について報告、議決 ・同一款内の項間流用 ・令和元年台風19号の被災者に係る一部負担金の免除	24	0	24	0
2. 報告事項 (1) 財政見通し	資料に基づき報告	24	0	24	0	

3. 議員及び理事

種別	議員			理事			任 期
	定員 名	現員 名	欠員 名	定員 名	現員 名	欠員 名	
選定	12	12	0	5	5	0	自 平成30年10月23日 至 令和 3年10月22日
互選	12	12	0	5	5	0	
計	24	24	0	10	10	0	

第 3 事業主・事業所・被保険者等の状況

種 別	前年度末	本 年 度		本 年 度 末	
		増	減		
事業主数	9 件	0 件	0 件	9 件	
事業所数	9 件	0 件	0 件	9 件	
被 保 険 者 数	男	2,496 人	178 人	214 人	2,460 人
	女	5,414 人	1,246 人	1,238 人	5,422 人
	計	7,910 人	1,424 人	1,452 人	7,882 人
被 扶 養 者 数	5,024 人	756 人	864 人	4,916 人	
介護保険第2号被保険者数	5,831 人	880 人	857 人	5,854 人	
平均標準報酬月額	男	560,405 円	/	/	566,333 円
	女	307,300 円	/	/	316,090 円
	計	388,855 円	/	/	395,932 円
総標準賞与額 (年間合計)	10,591,031 千円	/	/	11,685,239 千円	

第4 保 険 給 付 の 概 要

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保険給付費額（保険医療費等）	1,623,265千円	1,667,256千円	1,678,000千円	1,729,509千円	1,794,668千円
被保険者一人当たりの額	204,236円	209,771円	212,244円	219,927円	226,086円

「保険給付費の被保険者1人当たり額」の前年度対比表

種 別		平成30年度	令和元年度	前年度対比
被保険者				
	療養給付費	104,410円	105,782円	101.3%
	薬剤支給	23,927円	26,358円	110.2%
	一部負担減免額	2円	6円	300.0%
	入院時食事・生活療養費	289円	271円	93.8%
	療養費	1,837円	1,966円	107.0%
	訪問看護療養費	1円	149円	14900.0%
	傷病手当金	2,622円	2,948円	112.4%
	埋葬諸費	38円	31円	81.6%
	出産育児一時金	6,780円	6,385円	94.2%
	出産手当金	4円	20円	500.0%
	計	139,910円	143,916円	102.9%
高齢者				
	高齢者療養給付費	6,582円	9,199円	139.8%
	高齢者減免額	0円	12円	-
	計	6,582円	9,211円	139.9%
被扶養者				
	家族療養費	53,925円	52,956円	98.2%
	家族薬剤支給	12,884円	12,293円	95.4%
	家族減免額	0円	0円	-
	家族訪問看護療養費	193円	175円	90.7%
	第二家族療養費	874円	947円	108.4%
	家族埋葬料	13円	6円	46.2%
	家族出産育児一時金	1,807円	2,046円	113.2%
	計	69,696円	68,423円	98.2%
高額療養費				
	高額療養費	1,638円	1,967円	120.1%
法定給付費		217,825円	223,516円	102.6%
被保険者				
	一部負担還元金	2,072円	2,518円	121.5%
	合算高額療養費付加金	30円	51円	170.0%
	計	2,102円	2,569円	122.2%
付加給付費		2,102円	2,569円	122.2%
保険給付費		219,927円	226,086円	102.8%

第5 直営医療機関及び指定医療機関

該 当 事 項 な し

第6 保健事業

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	実施状況・時期			注2) 評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢			対象者	実施状況・時期 () 内前年度実績	成功・推進要因		課題及び阻害要因
特定健康診査事業	1・2	特定健康診査の実施	【目的】 ・生活習慣病予防 【概要】 ・40歳以上の者を対象に生活習慣病(メタボリックシンドローム)のリスクに特化した健診。 ・被保険者(任継者除く)は定期健康診断と同時実施、被扶養者・任継者は委託先による主婦・家族健診および国保健診(集合契約B)を実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準該当者	・対象者 被保険者(任継者除く) 5902人 (5880人) 被扶養者・任継者 4700人 (4658人) 1202人 (1222人) ・受診者 被保険者(任継者除く) 5500人 (5451人) 被扶養者・任継者 4616人 (4573人) 884人 (878人) ・受診率 被保険者(任継者除く) 93.2% (92.7%) 98.2% (98.2%) 被扶養者・任継者 73.5% (71.8%) [2019年度国への報告値/目標:90.0%]	○被保険者(任継者除く) ・事業主が定期健診として実施しており、高い受診率を維持。 ○被扶養者・任継者 ・受診申込時期の早期化と受診期限の延長および受診勧奨により受診率が向上。	・被扶養者・任継者の受診率向上が課題。 →受診しやすい環境整備を委託先と推進(健診機関の適正な配備、申込手続の簡略化等)。	5
		特定保健指導の実施	【目的】 ・生活習慣病の予防と改善 【概要】 ・特定健康診査の結果、積極的支援・動機付け支援に該当した者に対し、外部委託の保健師等から生活習慣改善に向けた支援(面談、電話等)を実施するもの。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準該当者	・対象者 被保険者(任継者除く) 729人 (703人) 被扶養者・任継者 668人 (647人) 61人 (56人) ・実施者 被保険者(任継者除く) 277人 (139人) 被扶養者・任継者 271人 (138人) 6人 (1人) ・実施率 被保険者(任継者除く) 38.0% (19.8%) 40.6% (21.0%) 被扶養者・任継者 9.8% (5.4%) [2019年度国への報告値/目標:60.0%] ※2019下期から、初回面接をオンラインで実施可能な委託先に変更。 委託料増額により予算を3056千円超過。	○指導該当率 ・被保険者、被扶養者とも微増+13.3%(前年12.9%) ○実施率 ・前年より+18.2%増加するも目標は未達成。	・参加案内の早期化と勧奨強化。 ・生活改善行動の定着化が課題。	1
		広報誌の発行	【目的】 ・健保組合予算・保健事業に関する情報等の広報 【概要】 ・発行回数・頻度にかかわらず、必要に応じて適時適切に発行	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	～	全員	・「健保だより」を年8件発行(内製) [No.356～363]	・健保組合の予算、事業内容を加入者へ広報。	・健保HPの認知度の向上、有効活用の推進。	-
保健指導宣伝	4	リーフレット等の配布	【目的】 ・「心の相談ネットワーク」の周知、ジェネリック医薬品の使用促進 【概要】 ・新入職員に対して上記を記載したリーフレット等を配布するもの。	被保険者	全て	男女	0	～	～	新入職員	・新入職員に対し保険証発行時に、携帯型リーフレットカード、ジェネリック医薬品希望シールを配布 ※事業の認知度向上、浸透が見られ健保HPの委託先サイトから利用要領や相談先の電話番号を確認可能なため、携帯用リーフレットは廃止し健保HPの案内書面に記載(利用件数:2019年183件、2018年187件)	・保険証発行時に漏れなく案内。	・事業主と協働し、事業認知度の一層の向上を図ることが必要。	-
		医療費の通知	【目的】 ・被保険者への医療費の通知 【概要】 ・本人・家族の医療費額等を健保組合HPに掲載するもの。	被保険者	全て	男女	0	～	74	全員	・毎月、医療費の情報を健保組合HPに掲載	・医療費通知の確認方法を事業主の掲示板へ掲載	・医療費の削減に繋がる広報活動を継続していくことが必要。	-

第6 保健事業

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者						事業費(千円)	実施状況・時期			注2) 評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢				対象者	実施状況・時期 () 内前年度実績	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	7	共同事業保健指導宣伝	【目的】 ・健保連による共同広報事業および健康開発共同事業	被扶養者	-	-	-	~	-	-	428	[健保連に納入]	-	-	-
	7	データヘルス計画関連事業の推進	【目的】 ・データヘルス計画の実施 【概要】 ・所定のリスク対象者抽出、分析。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	~	74	基準該当者	523	・医療費や疾病データを分析し、実施事業の効果を計測、計画の見直しを実施	・レセプトデータの有効活用のため、システム委託先と連携	・データ抽出の効率化および継続的なデータ分析・評価を基にした効果的な事業の推進が必要。	-
	7	事業主とのコラボによる健康増進事業	【目的】 ・ヘルスリテラシーの向上、健康増進 【概要】 ・3大生活習慣を正しく実施する健康増進イベント「くうねるあるく」に他健保と共同で参加するもの。	被保険者	一部の事業所	男女	0	~	74	基準該当者	328	・3大生活習慣「食事」「睡眠」「運動」を正しく学び実践するイベントを事業主(大同生命)とともに開催「実施時期：9月」	・運動(ウォーキングキャンペーンの対抗戦)の結果好成绩部門へインセンティブを実施。	・参加アンケートや不参加者との相関をもとに、ヘルスリテラシーの醸成状況を分析し、有効な事業を実施していくことが必要。	-
小計											2,656				
疾病予防	1	被保険者の生活習慣病健診等の費用補助	【目的】 ・生活習慣病・がん等の早期発見、早期治療 【概要】 ・事業主が実施する定期健康診断の法定外健診相当部分およびオプション健診費用を補助するもの。	被保険者	全て	男女	35	~	74	基準該当者	130,053	・受診者数 生活習慣病 4,744人 (4,639人) 乳がん 2,091人 (1,981人) 子宮頸がん 1,814人 (1,500人) 肝炎検査 119人 (102人) 前立腺がん 807人 (771人)	・事業主が定期健診と同時に生活習慣病の健診を実施。 ・子宮頸がん健診の受診件数増加は、受診年齢を40歳以上から20歳以上に拡大したことによるもの。	・事業主と協働し、健診項目や受診対象基準を継続して見直していくことが必要。	-
	1	被扶養者等の生活習慣病健診の実施	【目的】 ・生活習慣病・がん等の早期発見、早期治療 【概要】 ・被扶養者・任継者に対して特定健診と同時に実施するもの。	被扶養者 任継者	全て	男女	35	~	74	基準該当者	10,394	・受診者数 配偶者(主婦)35歳以上 854人 (872人) 家族・任継者40歳以上 54人 (58人)	・委託先の巡回型・施設型健診と同時に実施。 ・乳がん健診・子宮頸がん健診を隔年で無料受診可能としている。	・委託先と協働し、受診しやすい環境整備(健診機関の適正な配備、申込手続の簡略化等)に努めていく。	-
	1	住民健診費用の補助	【目的】 ・がん等の早期発見、早期治療 【概要】 ・市町村実施の住民健診を受診した場合、全額を補助するもの。 ※対象は、事業主による定期健診受診基準外(勤続3年未満)の者。	被保険者	全て	男女	20	~	74	基準該当者	5	・受診者数 乳がん 1人 (5人) 子宮頸がん 1人 (5人) 胃部X線 1人 (2人)	・事業主による定期健診受診基準外(勤続3年未満)の者が対象であり、受診者数は僅少。	・事業内容の認知度を向上させていくことが必要。	-
	1	がん自己検診の実施	【目的】 ・がんの早期発見・早期治療 【概要】 ・希望者および事業主による定期健診受診基準外(勤続3年未満)の者を対象に大腸・肺・胃がんの検診を行うもの。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20	~	74	基準該当者	1,070	・受診者数 大腸がん 438人 (472人) 肺がん 223人 (260人) 胃がん 1人 (2人)	・委託先の巡回型・施設型健診の受診案内に申込書を同封。 ・事業主が定期健診と同時に実施するがん検診の受診者数増加に伴い、自己検診者数は減少。	・委託先と協働し、一層の受診推進および有所見者の再受診勧奨を行っていくことが必要。	-

第6 保 健 事 業

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	実施状況・時期			注2) 評価		
				資格	対象事業所	性別	年齢			対象者	実施状況・時期 () 内前年度実績	成功・推進要因		課題及び阻害要因	
	4	二次健診未受診者の健康指導	【目的】 ・高リスク者への健康指導、二次健診の受診勧奨 【概要】 ・二次健診未受診者のうち、健康指導を要する高リスク者をレセプトデータから抽出し、保健師が指導するというもの。	被保険者	一部の事業所	男女	20	～	74	基準該当者	0	・二次健診受診勧奨率 35.2% (36.5%) ・二次健診受診勧奨後の受診率 86.7% (81.0%) ※事業主(大同生命)から対象者への受診勧奨に効果が認められたため、委託先による指導対応は保留。	・事業主(大同生命)が単独で実施 ・指導後の二次健診受診率は前年より上昇。	・事業主と協働し、二次健診未受診者の早期受診を促す効果的な方法を検討していくことが必要。	-
	5	メンタルヘルスカウンセリング	【目的】 ・悩み・不安・メンタル不調の相談 【概要】 ・委託先窓口フリーダイヤルを設置して電話(面談も可)等により相談に応じるもの。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1,090	・利用実績 電話 183件 (187件) Web 157件 (168件) 8件 (14件) 面接 18件 (5件)	・会社や他者に知られずにメンタル不調を相談できる。 ・利用件数が定着、当事業の浸透が伺える。	・利用しやすい環境の維持。	-
	5	歯科衛生対策	【目的】 ・口腔衛生保持と早期歯科治療の促進 【概要】 ・無料歯科健診を実施する、委託先が提携する歯科医院を紹介するもの。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	108	・利用実績 被保険者 56件 (62件) 被扶養者 54件 (59件) 2件 (3件) ※前年比△10%	・歯と口の健康週間に合わせて健保HPへ事業内容を掲載。 ・委託先の専用サイトから希望の歯科医院を予約可能。	・事業内容を継続的に広報。 ・かかりつけの医院があると利用者数増加に繋がりにくい	-
	小計										142,720				
体育奨励	4	健康セミナーの開催	【目的】 ・女性の健康課題に関する知識付与と、それによる組合員の健康増進が目的 【概要】 ・女性特有の健康関連課題についてセミナーを開催	被保険者	一部の事業所・拠点	男女	20	～	74	全員	108	・当日参加者 57人、ビデオ視聴者 7422人 ※女性組合員(希望する男性組合員の参加も可)が対象。講演会の模様をビデオ撮影し、後日動画配信・アンケート実施(視聴者の86%が回答)	・事業主(大同生命)とのコラボ事業 ・アンケート結果では、ヘルスリテラシー向上に寄与した取組みであるとの結果	・関心の高いテーマの検討 ・セミナーの方法(集合開催・e-ラーニング)の検討	-
その他	-	家庭用常備薬の斡旋	【目的】 ・家庭用常備薬、健康関連商品を安価で提供 【概要】 ・健保組合向けパッケージ商品を活用し実施するもの(年2回)。	被保険者	全て	男女	20	～	74	全員	-	・利用者数 5,442人 (5,542人) ・購入金額 1,818万円 (1,838万円)	・斡旋商品検討時の参考として、希望商品を記入できるよう申込書を改訂。	・代金の支払事務を見直し予定。	-
	合計										162,337				

注1) 1:健康診査 2:健康診査後の通知 3:保健指導 4:健康教育 5:健康相談 6:訪問指導 7:その他

注2) 1:39%以下 2:40%以上 3:60%以上 4:80%以上 5:100%以上

第7 決算残金処分

1. 一般勘定

決算状況		決算残金処分内訳	
収入決算額	4,219,786,725円	準備金	0円
支出決算額	3,758,837,646円	別途積立金	460,949,079円
差引残額	460,949,079円	翌年度繰越金	0円

2. 介護勘定

決算状況		決算残金処分内訳	
収入決算額	732,664,918円	準備金	9,762,592円
支出決算額	490,546,326円	翌年度繰越金	232,356,000円
差引残額	242,118,592円		

第8 財産の移動状況

1. 一般勘定

種別	前年度末現在 金額又は価格	本年度中移動		本年度末現在 金額又は価格	
		増	減		
		金額又は価格	金額又は価格		
準備金	672,833,000円	103,126,000円	102,842,301円	673,116,699円	
別途積立金	3,795,172,813円	668,838,079円	200,000,000円	4,264,010,892円	
退職積立金	0円	0円	0円	0円	
固定資産	有形	土地	0円	0円	0円
		建物	0円	0円	0円
		機会及器具	0円	0円	0円
	無形	0円	0円	0円	
その他の財産	3,233,990円	0円	75,000円	3,158,990円	
計	4,471,239,803円	771,964,079円	302,917,301円	4,940,286,581円	

2. 介護勘定

種別	前年度末現在 金額又は価格	本年度中移動		本年度末現在 金額又は価格
		増	減	
		金額又は価格	金額又は価格	
準備金	78,286,390円	9,762,592円	0円	88,048,982円

第9 組合債

該当事項なし

第10 その他重要な事項

該当事項なし

以上のとおり報告する。

令和2年7月10日

大同生命健康保険組合
理事長 北原 睦朗

大同生命健康保険組合 財産目録

1. 一般勘定

令和2年3月31日現在

種 別		金額又は価格 (円)	備 考	
準備金	金 員	預貯金・信託	348,127,699	三菱UFJ銀行、オリックス銀行、三菱UFJ信託銀行
		年度決算残金 処分積立予定	0	
		計	348,127,699	
	有価証券	国債・社債・地方債	300,000,000	大和証券、三菱UFJMS証券、野村証券
		基金委託金	22,989,000	社会保険診療報酬支払基金
		出 資 金	2,000,000	大阪中央病院再構築支援出資金
		合 計	673,116,699	
別途積立金	金 員	預貯金・信託	3,703,061,813	三菱UFJ銀行、オリックス銀行、三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行、兵庫県信用農業協同組合連合会、住信SBIネット銀行
		年度決算残金 処分積立予定	460,949,079	
		計	4,164,010,892	
	有価証券	社債・国債	100,000,000	大和証券
		合 計	4,264,010,892	
その他の財産		3,158,990	貸室賃貸借契約に基づく敷金、備品（統合専用端末）	
総 計		4,940,286,581		

2. 介護勘定

種 別		金額又は価格 (円)	備 考	
準備金	金 員	預貯金・信託	78,286,390	三菱UFJ銀行
		年度決算残金 処分積立予定	9,762,592	
		計	88,048,982	
	有価証券	国債・金融債他	—	
		合 計	88,048,982	